

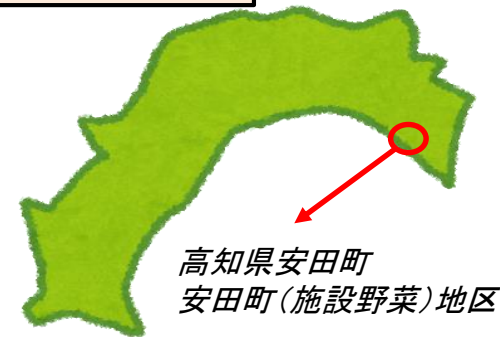
## 取組の概要

取組の概要 : 施設野菜産地形成の推進  
 計画作成主体 : 安田町地域農業再生協議会  
 対象品目 : 施設野菜 (なす、ピーマン、トマト)  
 (産地面積: 15.82ha (施設栽培))  
 主な取組主体 : 農業者 (14戸)  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加  
 助成金の活用 : 生産支援事業 (環境制御装置、養液栽培装置等のリース導入、フッ素系被覆資材の導入)

## ポイント

園芸施設への炭酸ガス発生装置や統合環境制御装置、細霧冷房装置、除湿装置等の環境制御機器の導入や、フッ素系被覆資材等の高度な被覆資材の導入により、収量の増加と品質の向上を図ることで、販売額10%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 15.73ha  
販売額 : 3,709千円/10a

〈目標:H32年度〉

作付面積 : 15.82 ha  
販売額 : 4,085千円/10a



## 推進体制

地域の関係者 (土佐あき農業協同組合、安田町、安田町地域農業再生協議会、県安芸農業振興センター等) が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

○土佐あき農業協同組合ほか関係機関による営農指導・圃場巡回・勉強会の実施を推進。

〈県・町単独事業〉

○県 : 園芸用ハウスの整備を支援。  
 ○町 : 環境制御装置導入に対し補助金の上乘せ支援。

## 事業効果

- 炭酸ガス発生装置や統合環境制御装置、細霧冷房装置、除湿装置等の環境制御機器の導入による収量の増加と品質の向上。
- 県・町補助事業を活用してハウス整備等を行い、販売額・農家所得の向上を実現。

～施設野菜の販売額～  
(なす・トマト・ピーマン)

